

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年4月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104100
法人名	有限会社 ウェルケア
事業所名	グループホーム 陽だまりの家
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町4880番地15 (電話) 099-295-7240
自己評価作成日	平成27年2月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ①ターミナルケアに関しては、在宅医療と連携がとれているため、ご家族・職員・かかりつけ医が一体となった終末期ケアが出来ている。今後は、グループホームが終の棲家ではなく、ご家族のもとへ帰れる場所であるよう在宅支援にもとりくみ、最後をご自宅でご迎えてほしい。
- ②作業療法士が勤務しているため、専門的な支援が受けられる。
- ③ケアの基本であるパーソン・センタード・ケアの理念を学んだマッパーが2名勤務し、質の向上に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは周囲にスーパーマーケットや郵便局・民家も多く、散歩や買い物の際には挨拶や会話を交わせる環境に立地している。
- ・在宅医療機関と24時間協力体制が築かれており、本人や家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。
- ・町内会に加入し、地域の行事に積極的に参加し、事業所行事の夏祭りなどには地域住民が参加するなど、地域との良好な関係が築かれている。認知症の地域理解を深めるための活動を行い、良好な連携が保たれている。
- ・利用者が張り合いのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や習慣を把握して支援している。
- ・オムツを減らす取り組みや排泄の自立を支援し、改善されている。
- ・管理者は職員とのコミュニケーションを図り、職員の意見や気づきを積極的に取り入れ、職場環境づくりに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	各職員が、利用者様が安心して生活していくには何が大切かを考え、理念を作り上げている。日々のケアを通じて、理念の共有と実践に努めている。	地域の中でのホームとして、2年前に職員全員で見直しをして独自の理念を作り、事業所の玄関等に掲示している。職員会議等で振り返り、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方への夏祭りや敬老会等の施設イベントへの参加の働きかけや、日頃の散歩や挨拶等を通じて交流を持ち、野菜などを頂くこともある。	町内会に加入し、回覧板を利用者と一緒に届けたり、町内会行事や奉仕作業に参加している。ホームの新聞を配布したり、ホームのイベントに地域住民が参加したり、保育園児との交流や小・中学生の職場体験学習、ボランティアの受け入れなども行い、地域と交流を深め、情報のやり取りをしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域包括と吉野地区のグループホームが協働し、認知症の地域理解を深める為の活動を行なっている。又、来訪者のお話を傾聴し、地域の方々の身近な相談窓口となるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議には消防署を交えた避難訓練なども取り入れ、緊急時の対応等についてご家族や民生委員と意見交換をおこなっている。又、ご家族からのご意見については、迅速にケアに反映させるよう努めている。</p>	<p>会議は定期的に行われ、事業所の状況や外部評価の報告等を行い、質問や意見等が活発に行われている。出された意見や要望は迅速にサービスに活かせるよう努め、年1回は消防署の指導のもと、避難訓練を兼ねて行っている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>生活保護や介護認定の手続き等で頻繁な行き来がある。又、地域包括や行政との話し合いの場に参加する等、地域全体で連携に取り組んでいる。</p>	<p>市担当者とは相談や情報を交換してアドバイスを貰ったり、認知症サポーター養成講座に協力したり、日頃から連携関係ができています。生活保護担当者とも密に連絡している。市主催の会議や研修会に出席し、協力関係が築けている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関する資料を読み、理解に努めている。パーソン・センタード・ケアを全ての職員が基本として、命に関わらない限りは行動制限はせず、利用者様の心身に拘束のないケアに努めている。</p>	<p>身体拘束廃止のマニュアルがあり、定期的な勉強会で事例検討を実施し、職員は言葉遣いも含め利用者の心身を拘束しないケアについて学んでいる。玄関は日中は施錠せずに職員の連携で自由に安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃より利用者様の小さな異変も見逃さず、報告するよう徹底し原因追及を行なっている。又、ミーティングでは高齢者虐待防止について話し合い、資料などもすぐに関覧出来るようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度の研修会に参加し理解に努めている。利用者様の必要性に応じて制度を活用出来るよう支援している。又、職員全員が、利用者様にとって一番身近な権利擁護者である自覚を持つよう努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約前に何度かその都度きちんと説明を行い、その場で不安や疑問点がないかを尋ね、納得して頂いた上で契約・解除をしてもらうようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族面会時には必ず職員が近況報告を行い、ご意見等をお伺いできる場を設けるようにしている。また、利用者様御本人から直接意見や不満をお話して下さることも多く、すぐに会議での検討・ケアの改善を行なっている。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会時にホームでの状況報告をして気付きや意見を聞いている。出された意見や要望は迅速に話し合い、運営に活かせるよう努めている。意見箱も設置している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングの際や個別に職員の不安や疑問、意見等を話せる場を出来るだけ作っている。一人一人の意見を大切に、チームとして一致団結してケアに望めるように努めている。</p>	<p>管理者はミーティング時に職員の意見や提案を聞く機会を設けている。日頃から職員とのコミュニケーションを図り、個別に時間を作り聴くようにしている。意見は運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎月出来る範囲での休日希望を受け入れたり、研修や資格取得に配慮し、勤務表作成をしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全職員に学べる機会をつくり、更にやりがいや自信を持って働いてもらえるよう、資格取得に全面協力している。地域活動や研修にも積極的に参加させている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修会等で同業者の方と交流する場を持ち、意見交換等を行っている。又、定期的に地域の事業所が集まり、ネットワーク作りや勉強会を行い質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	体験入居等を通して、施設の雰囲気や職員のことを少しでも理解して頂けるようにしている。又、利用に至るまで御本人と直接お話する機会を必ず設け、不安や要望等を受け止める努力をしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用に至るまでにご家族と直接お話する機会を設けて希望や要望等を受け止め、共に協力して利用者様の生活を支えていけるような関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者御本人・ご家族が個々に求める支援とグループホームとして提供できる支援（地域の協力機関を含め）を見極め、その時々状況に応じて対応して行けるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	重度であっても、認知症ケアは決して一方的に施されるものではないことを肝に命じ、相互に思い合い、同じ目線・同じ立場にたったケアに努めている。利用者様から学び、教えて頂ける場面を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の現状を毎月のお便りでご家族へお知らせするよにしている。又、御家族との外出・外泊を支援し、一緒に御本人を支えていく関係を築いていけるよう努力している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人達との関係が途切れないよう、利用者様へ確認したうえで面会や電話等に対応している。	親戚や馴染みの友人・知人の訪問があり、継続的關係が途切れないよう働きかけている。馴染みの関係を把握した上で、電話の取次ぎや面会にも丁寧に対応している。家族の協力を得て行きつけの店への買い物や理美容院の利用・外食・墓参など、支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係を日々の生活の中で把握し、場合によっては職員が間に入りより良い関係を築いて頂けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了した後も、気軽に施設に来て頂けるような関係を築くように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	以前の暮らしと変わらず、なるべく御本人の希望に沿った生活が出来るように支援している。困難な場合は、御本人と話し合いをし、検討するように努めている。	日々の関わりの中で本人の希望を聞いたり、表情や言葉などから思いや意向の把握に努めている。家族や馴染みの友人知人からの情報も含めて、記録に残し、全職員で共有し幅広くその人らしい生活ができるように支援している。意思疎通が困難な場合、家族から情報を得るなどして本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前に一人一人の情報はサマリー等を通し把握するよう努めている。又、ご家族からお話を伺ったり、個々の人生暦をまとめた情報書を作成し、コミュニケーションに生かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人と日々コミュニケーションを図り、その中で御本人の生活のリズム、心身状態を把握するように努めている。又、職員同士の情報共有にも努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人がより良く暮らす為、毎日変化する心身状態に伴って生じてくる課題について、経過観察及び検討を行った上で御本人やご家族から意見を聴き、それを元に再度職員で検討を重ね介護計画を作成している。	利用者の個別記録簿を基に、心身の健康等を把握し、主治医の意見も取り入れ、本人や家族の意向を汲み取った上で介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直ししている。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個別記録を記載し（検討事項については詳細な記録を徹底し、別途アセスメント用紙を作成し記録している）、職員は利用様の状態・情報の共有をしている。は個別記録等を元に、定期的なケアの見直しを行なっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	在宅医療や歯科往診の利用、人工透析を受けながらのホームでの生活等、多機能性を活かして出来るだけ御本人やご家族の要望に応じた支援が出来るように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	教育機関と協力し、音楽療法士の実習や小中学校の職場体験の受け入れ、保育園児との交流、ボランティアさん等に来て頂く等し、外部の方々と協働し支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	なるべく御本人やご家族等の希望を大切に、安心して医療を受けられるよう支援を行っている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援し、複数の医療機関と密な関係を結んでいる。歯科の口腔検診から緊急時の対応などに至るまで、かかりつけ医と連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医の看護師等に気軽に相談しながら、利用者様の健康管理について意見交換を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>情報書を提出するだけでなく、利用者様の入院時は出来るだけ職員も付き添い、直接看護師に利用者様の日頃の様子等をお話するように努めている。又、入院後もこまめに情報交換を行い、対応の仕方等を事前に把握しておくように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>かかりつけ医に終末期について説明を受け、ご家族にも定期的にお話をして意向を確認している。又、全員で方針を共有し、最期までその方らしく過ごせるよう、医療機関・ご家族と協力してターミナルケアに努めている。</p>	<p>契約時に重度化や看取りの方針を説明し、状況変化に伴う本人や家族の意向を確認している。主治医と連携して家族と方向性を共有し、納得して安心した最後を迎えられるよう支援に取り組んでいる。看取りの事例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応については会議にて指導を行いマニュアルも作成しているが、定期的な訓練は行っていない。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時の対応手順を掲示し、職員へは災害時対応マニュアルを配布している。又、家族や民生委員と共に定期的に避難訓練を行い消防署の指導を受けている。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜間想定避難訓練を実施している。そのうち1回は運営推進会議と兼ねて行われ、家族や民生委員と共に消火器の使い方、避難、救出の訓練を行っている。スプリンクラーや緊急通報装置・AEDも設置されている。災害時の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	相手の気持ちになって考え、言語・非言語のコミュニケーションを用いて個々人の誇りやプライバシーに配慮している。個人情報については事務所で管理し適切に扱っている。	個人を尊重する言葉かけやプライバシーの保持に心がけ、尊敬の気持ちを失わないように日々確認し合い、さり気ないケアを行っている。特に入浴やトイレ誘導などでは配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	どんな事でも、必ず御本人と相談し、話し合った上で決めるようにしている。普段から御本人がどのような思いや希望を持っているかを知り、その意向に沿えるように努めている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の生活リズムや希望に合わせて過ごして頂けるように常に心がけ、決して職員側のペースで行なわないように努めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に移動美容室に来てもらい、カラー・パーマ等も希望に応じてして頂いている。爪切や髭剃等の整容チェックは毎日行ない、日頃は好みの衣類を着られるよう支援している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様のその日の状態に合わせて、下膳や調理の下ごしらえ、食器洗い等をして頂いている。	栄養士の献立を中心に、嗜好に配慮した食事形態で作っている。個々の力を活かしながら、準備や後片づけ、おやつ作り等職員と一緒にしている。差し入れされた野菜を献立に取り入れ彩りや香りで食欲が湧くようにしたり、季節の行事食など食事が楽しみになる工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎月体重管理を行い、栄養士に献立作成を依頼して栄養バランスのとれた食事を提供している。又、個々の排泄量を考え、必要量の水分を摂っていただくようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔洗浄を基本として、一人一人に合わせて支援を行い、口腔内の清潔・誤嚥性肺炎の予防に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄リズムを把握し、排泄の失敗等を減らせるように努めている。出来るだけオムツ等は使用せず、御本人と相談しながら、一人一人の心身の状態にあった支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握してトイレ誘導をし、動作や小さな情報も職員全員で共有するようにしている。トイレでの排泄を大切にしており、オムツを減らす努力や排泄の自立を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝牛乳を飲んで頂いたり、日頃から補水に気を付けている。又、毎朝体操を取り入れ、日中も少しでも身体を動かして頂けるよう、生活リハビリや作業療法に努めている。腹部マッサージ等も行なっている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日や時間等はある程度決められているが、その方の希望に合わせて入浴を楽しんで頂けるように努めている。入浴日以外の希望には、清拭や足浴等で対応している。	入浴は基本的には週3回であるが、利用者の希望を優先して気持ちよい入浴を支援している。入浴を拒む利用者には曜日を変えたり、シャワー浴や清拭・足浴を行い清潔を保てるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく個々のリズムを大切に、習慣や体調に合わせて休息等をとって貰うようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤表ですぐに利用者様の情報を確認できるようにしている。又、誤薬等を防ぐ為、服薬担当者だけでなく、職員全員が責任を持って服薬確認をするシステムを作り徹底している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月一回はイベントを企画し、楽しんで頂けるよう支援している。又、生活歴に合わせて炊事や塗り絵、新聞の切り抜き等、好きな事をして頂ける時間を大切にしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望があれば外へ出られるよう支援している。又、花見やドライブ、ピクニック等を企画し、定期的に外出できる機会を設けている。御家族が来訪された際は外出をお勧めし、外食や買い物等、御家族との時間を過ごして頂けるように努めている。	利用者の体調などを考慮して天候を見ながら散歩や買い物に出かけている。利用者の希望に沿って計画を立て、花見やドライブ・足湯・健康の森・都市農業センター・水族館などに出かけている。車椅子対応も行っており、外出の機会が多く持てるよう努めている。家族の協力で外食や墓参り等にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持する事に特に制限はなく、一人一人の希望に合わせて支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望があれば、自由に電話のやり取りをして頂いている。又、御家族への年賀状やクリスマスカード等の支援も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花々や絵、その月に合わせたレクリエーションを取り入れ、五感で季節を感じて頂けるように支援している。又、不快な音や臭い等にも配慮し、心地よく安心して生活できる環境作りに努めている。	共用の空間は換気や採光に配慮し清潔である。ホールには利用者が手作りした季節を感じさせる飾り付けや行事の写真が貼られ、花が飾られている。ゆっくりした椅子で、心地よく生活できるよう工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間では自由にお好きな場所で過ごして頂けるようにしている。又、気の合う利用者様同士がどこでもゆっくり語り合えるように配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	身の回りの物は出来るだけ長年愛用されてきた物を使って頂き、御家族からのお手紙やお好きな絵・写真等を飾るのをお手伝いしている。	居室はベッドとタンスが備え付けである。テレビやソファ・寝具・家族写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。利用者が気に入っている洋服や帽子等がすぐに選べて着用できるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人に合わせた声かけを行うように努め、安心して生活できるように支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない